

日程表

	第 1 会場(現地+ライブ配信)	第 2 会場(現地)
10:00	10:00~ 開場・受付開始	
11:00	11:00~11:10 開会式	11:00~11:50 一般演題 2 「業務効率・改善①」 座長:三浦 祐司
	11:10~11:30 大会長講演 リハビリテーション医療のブルーオーシャン戦略 近藤 国嗣	
11:30	11:35~12:00 基調講演 1 DX とリハビリテーション医療の構造化 講師:大高 洋平 座長:近藤 国嗣	1-2-1~ 1-2-8
	12:00~12:25 基調講演 2 介護領域におけるリハビリテーションと DX 講師:荒井 秀典 座長:近藤 国嗣	一般演題 3 「リハビリテーション医療における ICT 活用」 座長:白波瀬 元道
12:30	12:30~13:00 シンポジウム リハビリテーション医療・介護 × DX = 未来予想図 シンポジスト:大高 洋平 シンポジスト:荒井 秀典 座長:近藤 国嗣	1-3-1~ 1-3-9
	13:10~13:55 一般演題 1 The Rehabilitation Transformation Awards 座長:川上 途行	13:05~14:00 一般演題 4 「DX 全般」 座長:澤田 辰徳
13:30	1-1-1~ 1-1-5	1-4-1~ 1-4-9

14:00		
14:30	14:10~14:40 教育講演 1 臨床知識の構造化・標準化・デジタル化 ~患者状態適応型のリハビリテーション医療を実現する DX~ 講師:水流 聡子 座長:菊地 尚久	14:10~15:05 一般演題 5 「予測・評価」 座長:茨木 拓也 1-5-1~ 1-5-9
15:00	14:50~15:30 特別講演 国の政策における医療 DX の方向性と リハビリテーション医療に期待すること 講師:国光 あやの 座長:斉藤 秀之	
15:30		15:15~16:00 一般演題 6 「ロボット・テクノロジー」 座長:大高 洋平 1-6-1~ 1-6-7
16:00	15:40~16:40 教育講演 2 情報時代のリハビリテーション医療の姿 講師:黒田 知宏 座長:川上 途行	
16:30		16:10~17:00 一般演題 7 「業務効率・改善②」 座長:柏木 哲夫 1-7-1~ 1-7-9
17:00		
17:30	17:30~ 懇親会 会場:あじ彩石垣島	

日程表

	第1会場(現地+ライブ配信)	第2会場(現地)
8:30	8:30~ 開場・受付開始	
9:00	9:00~9:30 ご当地シンポジウム 島嶼部よりみた DX~やいまぬ DX ならしひょーり~ シンポジスト:奥野 克仁 シンポジスト:陳内 裕樹 座長:古橋 哲	8:45~9:40 一般演題 8 「デジタル技術開発とリテラシー」 座長:森 直樹 2-8-1~ 2-8-9
9:30	9:40~10:40 パネルディスカッション 1 「認知症診断の最新テクノロジー」 ・認知機能低下患者の顔を見分けることができる AI モデル 講師:亀山 祐美 ・アイトラッキング式認知機能評価法の研究開発と 実用化に向けて 講師:武田 朱公 ・自然言語処理や音響学的特徴を用いた 認知症スクリーニング 講師:岸本 泰士郎 座長:金子 文成	9:50~10:40 一般演題 9 「歩行評価」 座長:伊藤 真梨 2-9-1~ 2-9-8
10:00	10:50~11:50 パネルディスカッション 2 「コメディカルに向けた DX の基礎知識と実際」 ・理学療法領域における DX の現状と可能性 講師:山口 智史 ・作業療法領域における DX の現状 講師:澤田 辰徳 ・回復期リハビリテーション医療における digitization, digitalization, digital transformation (DX)の現状と道程 講師:宮井 一郎 座長:高島 千敬	10:50~11:45 一般演題 10 「教育・連携」 座長:呂 隆徳 2-10-1~ 2-10-9
10:30	11:50~ 閉会式	
11:00		
11:30		
12:00		

大会長講演	第 1 会場	11:10~11:30
リハビリテーション医療のブルーオーシャン戦略 大会長：近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院 病院長）		
基調講演 1	第 1 会場	11:35~12:00
DX とリハビリテーション医療の構造化 講師：大高 洋平（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座 主任教授） 座長：近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院 病院長）		
基調講演 2	第 1 会場	12:00~12:25
介護領域におけるリハビリテーションと DX 講師：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター 理事長） 座長：近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院 病院長）		
シンポジウム	第 1 会場	12:30~13:00
リハビリテーション医療・介護 × DX = 未来予想図 シンポジスト：大高 洋平（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座 主任教授） シンポジスト：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター 理事長） 座長：近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院 病院長）		
教育講演 1	第 1 会場	14:10~14:40
臨床知識の構造化・標準化・デジタル化 ~患者状態適応型のリハビリテーション医療を実現する DX~ 講師：水流 聡子（東京大学 総括プロジェクト機構 特任教授） 座長：菊地 尚久（千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長）		
特別講演	第 1 会場	14:50~15:30
国の政策における医療 DX の方向性とリハビリテーション医療に期待すること 講師：国光 あやの（衆議院議員 / 総務大臣政務官 / 医師） 座長：斉藤 秀之（公益社団法人 日本理学療法士協会 会長）		
教育講演 2	第 1 会場	15:40~16:40
情報時代のリハビリテーション医療の姿 講師：黒田 知宏（京都大学医学部附属病院 教授 / 医療情報企画部長） 座長：川上 途行（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授）		

ご当地シンポジウム	第 1 会場	9:00~9:30
<p>島嶼部よりみた DX ~やいまぬ DX ならーしひょーり~</p> <p>シンポジスト: 奥野 克仁 (石垣市 DX 課 CIO 補佐官)</p> <p>シンポジスト: 陳内 裕樹 (竹富町フェロー / 日本薬科大学特別招聘教授 / 内閣府クールジャパンプロデューサー)</p> <p>座長: 古橋 哲 (かりゆし病院)</p>		

パネルディスカッション 1 「認知症診断の最新テクノロジー」	第 1 会場	9:40~10:40
<ul style="list-style-type: none">■ 認知機能低下患者の顔を見分けることができる AI モデル 講師: 亀山 祐美 (東京大学大学院 医学系研究科老年病科 特任講師)■ アイトラッキング式認知機能評価法の研究開発と実用化に向けて 講師: 武田 朱公 (大阪大学大学院 医学系研究科臨床遺伝子治療学寄附講座 准教授)■ 自然言語処理や音響学的特徴を用いた認知症スクリーニング 講師: 岸本 泰士郎 (慶應義塾大学 医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座 特任教授) <p>座長: 金子 文成 (東京都立大学 人間健康科学研究科理学療法科学域 准教授)</p>		

パネルディスカッション 2 「コメディカルに向けた DX の基礎知識と実際」	第 1 会場	10:50~11:50
<ul style="list-style-type: none">■ 理学療法領域における DX の現状と可能性 講師: 山口 智史 (順天堂大学 保健医療学部理学療法学科 先任准教授)■ 作業療法領域における DX の現状 講師: 澤田 辰徳 (東京工科大学 医療保健学部作業療法学科 教授 / 作業療法士)■ 回復期リハビリテーション医療における digitization, digitalization, digital transformation (DX)の現状と道程 講師: 宮井 一郎 (社会医療法人大道会副理事長 / 森之宮病院院長代理 / 医師) <p>座長: 高島 千敬 (広島都市学園大学 健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 准教授)</p>		

The Rehabilitation Transformation Awards		第 1 会場	13:10~13:55
座長:川上 途行 (慶應義塾大学)			
1-1-1	リハビリテーションスタッフの働き方改革～新たなる挑戦～	工藤 正和 HITO 病院	
1-1-2	転倒予防を目的としたスパイクピン自動吐出 AI シューズにおける凍結路面判定精度の分析	昆 恵介 北海道科学大学	
1-1-3	脳卒中患者の上肢練習において重症度に応じた課題の難易度設定を自動で提供できるプログラム開発について～シミュレーション研究～	竹林 崇 大阪公立大学	
1-1-4	機械学習法を用いた脊髄損傷者の歩行予後予測	加藤 千尋 国立病院機構村山医療センター	
1-1-5	片麻痺患者のバランス能力と歩行耐久性に関する歩行関連指標の抽出	長谷 公隆 関西医科大学	

業務効率・改善 ①		第 2 会場	11:00~11:50
座長:三浦 祐司 (医療法人 成島クリニック)			
1-2-1	当院での健康管理アプリを使用した DX による業務改善	三宮 克彦 熊本機能病院	
1-2-2	当法人における医療 DX の推進について	田代 健一 長崎リハビリテーション病院	
1-2-3	地方公立病院におけるリハビリテーション医療 DX の導入	齋藤 祐太郎 亀田メディカルセンター	
1-2-4	組織情報共有における社内ポータルサイトとビジネスチャットの構築と活用	山本 喜美夫 亀田総合病院	
1-2-5	多職種協働セルケアシステム®と ICT(Information and Communication Technology)活用による働き方の変化	井川 晃一 社会医療法人石川記念会 HITO 病院	
1-2-6	リハスタッフ ICT 活用による働き方改革について	石田 憲司 下関リハビリテーション病院	
1-2-7	リハビリテーション部の患者データベースシステムの見直し～効率性と質向上への取り組みに向けて～	鶴井 慎也 脳血管研究所美原記念病院	
1-2-8	療法士における病院機能による間接業務時間の違い～web データベースソフトを利用した業務調査～	高芝 潤 近森リハビリテーション病院	

リハビリテーション医療における ITC 活用		第 2 会場	12:00~12:55
座長:白波瀬 元道 (永生病院)			
1-3-1	MICROSOFT365 を活用した遠隔リハビリテーション診療管理	宮越 浩一 亀田総合病院	
1-3-2	当院の摂食嚥下障害診療の IT 化, オンライン化に向けた取り組み	重松 孝 浜松市リハビリテーション病院	
1-3-3	言語聴覚療法での遠隔リハビリテーションの実施と課題について	柄澤 結香 新八千代病院	
1-3-4	病院歯科における義歯を用いた口腔リハビリテーションに DX を活用した症例	竜 正大 東京歯科大学	
1-3-5	施設入所高齢者に対して ICT を活用した口腔リハビリテーションの取り組み	太田 緑 東京歯科大学	

1-3-6	モバイルヘルスを活用した COVID-19 後遺症に対するオンライン呼吸リハビリテーション指導の効果の検証	新井田 厚司 東京大学
1-3-7	オンライン装具診の実施と今後の課題	飯塚 悠 株式会社洛北義肢
1-3-8	YouTube を活用した動画によるリンパ浮腫指導とフレイル予防のためのセルフエクササイズ指導	梶 吉彦 川崎市立川崎病院
1-3-9	ソーシャルネットワーキングサービスを用いた遠隔運動教室の試み: フィージビリティスタディ	青山 朋樹 京都大学

DX 全般		第 2 会場	13:05~14:00
--------------	--	--------	-------------

座長: 澤田 辰徳 (東京工科大学)

1-4-1	理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士における診療記録の質的向上を目的とした監査票の作成	呂 隆徳 旭川医科大学病院
1-4-2	汎用人工知能はリハビリテーション医療に関する知能をどの程度有しているか~GPT-3 による理学療法士国家試験問題の正答率検証~	奥山 航平 東京湾岸リハビリテーション病院
1-4-3	大学アメリカンフットボールチームにおける急性非外傷性腰痛症と生体インピーダンスの関連性の検討	HURTADO Juan 京都大学
1-4-4	大学男子アメリカンフットボール選手における睡眠状態と傷害の関連について	大倉 里菜 京都大学
1-4-5	腰椎椎間板ヘルニアを呈するアスリートに対して仙骨回旋角速度に着目した一症例	瀬戸口 淳 運動器ケアしまだ病院
1-4-6	膝関節他動運動時の皮下組織を含む腸脛靭帯と外側広筋の滑走に対する温熱療法の即時効果	石田 弘 川崎医療福祉大学
1-4-7	汎用カメラを用いた転倒予防のための積雪凍結路面判定システムの検討	稲垣 潤 北海道科学大学
1-4-8	立ち上がり動作の動的時間伸縮法を用いた時系列データ解析	小川 愛実 慶應義塾大学
1-4-9	脳卒中患者に対する経頭蓋直流電流刺激効果と脳灰白質容積との関連	小島 翔 新潟医療福祉大学

予測・評価		第 2 会場	14:10~15:05
--------------	--	--------	-------------

座長: 茨木 拓也 (株式会社 NTT データ経営研究所ニューロイノベーションユニット)

1-5-1	回復期リハビリテーション病棟における疾患別の線形回帰分析で推定された FIM effectiveness を用いた退院時運動 FIM の予測精度の検証	松下 武矢 長崎リハビリテーション病院
1-5-2	当院における AI 活用① AI 「awina」開発の経緯と現状の課題	森 直樹 初台リハビリテーション病院
1-5-3	当院における AI の活用② 予後予測の精度と特性	山崎 俊槻 初台リハビリテーション病院
1-5-4	大規模データを用いた回復期脳卒中患者におけるトイレ関連動作自立に関する予後予測モデルの検討	宮崎 裕大 国立精神・神経医療研究センター病院
1-5-5	運動学習の定量化による MCI の判別変数としての可能性	戸嶋 和也 偕行会リハビリテーション病院
1-5-6	簡易な機械学習ツールを用いた外反母趾評価の試み	肥田 光正 大阪河崎リハビリテーション大学
1-5-7	回復期リハビリテーション病棟に入院している高齢脳卒中患者に対するデジタル機器操作指導の実現可能性調査	伊藤 大将 慶應義塾大学
1-5-8	子どもの協調運動を評価する打点アプリの開発と信頼性及び妥当性の検証	中田 咲来 京都大学
1-5-9	テキストマイニングを用いた理学療法士・作業療法士養成校の学生の学校生活目標における経時的変化の分析	北村 新 藤田医科大学

ロボット・テクノロジー		第2会場	15:15~16:00
座長:大高 洋平 (藤田医科大学)			
1-6-1	非接触スイッチ AAGI を用いた神経筋疾患患者の活動の向上プロジェクト	西田 大輔 東海大学	
1-6-2	課題指向型訓練の DX 化実現に向けた Mixed Reality(MR)技術の活用可能性の検討	吉田 亮太 Selbst-D	
1-6-3	Mixed Reality 技術を活用したフィジカルアセスメント教育システムの開発ー試作機体験会を通して得られた課題	竹内 真太 国際医療福祉大学	
1-6-4	スマートフォンカメラによる装具採型の可能性を探るー体幹装具採型の妥当性検証と展望ー	櫻井 桃子 がくさい病院	
1-6-5	Orthobot の歩行練習により脳卒中片麻痺患者の歩行速度改善に至った一症例	戸川 樹希亜 江東リハビリテーション病院	
1-6-6	2種類のロボットを活用して歩行練習を行った脳卒中片麻痺の1症例	平野 哲 藤田医科大学	
1-6-7	HAL®腰タイプ自立支援用を導入した ADL 向上に向けての取り組み ~ 受傷後 265 病日を経過した非骨傷性頸髄損傷患者を通して~	波多野 崇 下関リハビリテーション病院	

業務効率・改善 ②		第2会場	16:10~17:00
座長:柏木 哲夫 (インターリハ株式会社)			
1-7-1	業務用 iPhone の導入による効果と今後の展望	荒川 優也 松波総合病院	
1-7-2	回復期病棟システム構築と iPhone による業務効率化の取り組みについて	日比野 圭祐 松波総合病院	
1-7-3	リハビリテーション支援システムの動画サーバーを用いた情報共有について	西川 正一郎 葛城病院	
1-7-4	ウイズコロナにおける当院でのオンラインを活用したリハビリテーション見学について	浅井 泰雅 横浜新都市脳神経外科病院	
1-7-5	リハビリテーション医療におけるオンライン設備強化ーコロナ禍での外部講師との連携ー	本谷 竜太郎 アルペンリハビリテーション病院	
1-7-6	リハビリテーション部門システム管理の内製化とデータ活用の紹介	彦田 直 亀田総合病院	
1-7-7	デジタイゼーションの活用による訪問リハビリテーション業務改善の実践報告	椎名 郁 鶴巻温泉病院	
1-7-8	新規利用者を断らない事業所でありつづけるために~DX を活用した業務効率化と多様な働き方の実現~	木村 有紀 ごてんまり訪問看護ステーション	

リハビリテーション医療 DX 研究会 第1回学術集会

プログラム 【一般演題】

2日目 4月23日(日)

デジタル技術開発とリテラシー		第2会場	8:45~9:40
座長:森 直樹 (初台リハビリテーション病院)			
2-8-1	リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーションを実現するためのシステムの開発および概念実証試験	桑原 涉 慶應義塾大学	
2-8-2	リハビリテーション専門職によるシリアスゲーム開発の有効性の検討	木下 翼 株式会社デジリハ	
2-8-3	自然言語処理による自動 ICF コーディングシステムの構築	尾崎 尚人 季美の森リハビリテーション病院	
2-8-4	新しいウェアラブル人工喉頭の機能試作機開発	蛭海 元貴 住友重機械工業株式会社	

2-8-5	空気圧駆動人工呼吸器と電子デバイスを組み合わせた簡易呼吸リハビリテーション法の開発	石北 直之 国立病院機構新潟病院
2-8-6	マルチレーヤーパーセプトロン分析を活用した高齢者のプレフレイルとデジタルリテラシーの関連について	今岡 真和 大阪河崎リハビリテーション大学
2-8-7	継続的な自主練習の啓発と地域高齢者のデジタルリテラシーの向上を目的とした自主練習アプリ作成の取り組み	庄司 和行 西宮協立リハビリテーション病院
2-8-8	テクノロジーを活用したリハビリテーション機器・システムの開発・普及動向に関する俯瞰的検討	城岡 秀彦 株式会社日本総合研究所
2-8-9	予防医療DXに関する学士教育課程の現状と課題 ～一次予防、二次予防、三次予防の差異を中心に～	瀬戸 僚馬 東京医療保健大学

歩行評価		第2会場	9:50~10:40
座長:伊藤 真梨 (東京湾岸リハビリテーション病院)			
2-9-1	汎用カメラを用いた歩行評価システムの試作-歩幅の精度検証-	春名 弘一 北海道科学大学	
2-9-2	健常成人における歩行パラメータの日内変動	檜山 潮音 京都大学	
2-9-3	足圧分布データ解析からみた歩行時の5本指ソックス着用効果	遠藤 寿子 旭川医科大学病院	
2-9-4	臨床現場における歩容測定ツールの活用と簡易的な歩行データシステムの構築 ～歩行のビッグデータ作成と活用を目指して～	田代 耕一 桜十字先端リハビリテーションセンター-SACRA	
2-9-5	In-shoe motion sensor system を用いた変形性膝関節症患者における実験室歩行と日常生活歩行の違いの検討	清水 博己 京都大学	
2-9-6	認知症者の歩行機能の分析手法の検討	井上 忠俊 平成医療短期大学	
2-9-7	当院における歩行解析デバイス AYUMIEYE をリハビリテーション効果判定として用いる有用性の検証	尾科 洋輔 江東リハビリテーション病院	
2-9-8	歩行解析デバイス AYUMIEYE を用いて回復期リハビリテーション病院の転倒患者における得点分布の特性の検証	大塚 輝宙 江東リハビリテーション病院	

教育・連携		第2会場	10:50~11:45
座長:呂 隆徳 (旭川医科大学病院)			
2-10-1	CAREBOOK®を利用した全県型地域連携パスの電子化に向けた一歩	古口 徳雄 成田リハビリテーション病院	
2-10-2	コロナ禍においてオンラインミーティングに移行した地域リハビリテーション支援事業における多職種交流の在り方	勝谷 将史 西宮協立リハビリテーション病院	
2-10-3	かかりつけ医・リハビリテーション科専門医の情報共有と on-job サポート体制構築の試み 一障害を持った患者に対する医療提供体制の充実を目指して一	沢田 光忠郎 京都府立医科大学	
2-10-4	新型コロナウイルス感染症対策を機に、ICT 活用が進んだ事例～院内研修と脳卒中教室～	新城 吾朗 済生会東神奈川リハビリテーション病院	
2-10-5	コロナ禍の影響による職員研修の開催制限に対し、ICT 活用による研修開催の取り組み	中山 大樹 札幌溪仁会リハビリテーション病院	
2-10-6	COVID-19 感染拡大時の OT 代替実習に対する学生の意識	河野 光伸 金城大学	
2-10-7	理学療法士を目指す学生の学修目標に対して臨床実習が及ぼす影響 -定性的データに対するテキストマイニングを用いた分析-	吉田 太樹 藤田医科大学	
2-10-8	ソーシャルメディアを利用した動画視聴による講義の取り組み	藤田 俊文 弘前大学	
2-10-9	理学療法海外研修における対面方式とオンライン方式の学習効果の検証	桑江 豊 城西国際大学	